第 2 回地域審議会での意見について

八代地域審議会　平成 18 年 5 月 26 日（金）
坂本地域審議会　平成 18 年 6 月 1 日（木）
千丁地域審議会　平成 18 年 6 月 2 日（金）
鏡地域審議会　平成 18 年 6 月 2 日（金）
東陽地域審議会　平成 18 年 5 月 30 日（火）
泉地域審議会　平成 18 年 5 月 30 日（火）

■主な意見

地域名	主な意見
八代	子供たちの観点から心情的な部分で、行政と住民が対等なパートナーということが、素直に心の中に入っていかない。行政と住民が対等のパートナーという意識が、心の中に根付いていないような気がする。「行政に対して何らかの形で関心を示している。自分から積極的に提言していこう。」という土壌を作るとしたら、同時に小中学校の教育段階の過程の中に取り込んでいただきたい。
八代	アンケート調査について、自治会長さんたちの意見も非常に良いと思うが、町内の２～3 の方の意見を取り入れながらやった方が良かったのではないかと思う。自治会長さんの中には任期を長くやっている方もいるということも聞いているので、定年制ではないが、任期を取って、推薦をして、またなっていただくという形にしていかないと、馴れ合いや役員が高年齢化しているというアンケート結果もある。やはり、上が変わらないと下の部分も変わらないということも出てくるのではないかと思った。
八代	資料の方に市民の役割とあるが、市民はスムーズに参加するのか。果たして、地域住民に理解していただけるかなと懸念している。地域住民の参加なくして、絵に描いたもちではどうしようもない。各町内に行っていただいて、行政から詳しく内容を説明していかないと地域住民の理解、参加が得られない。
八代	素案ということは想いというものがあって、それに理想というものが繋がっているわけである。この文書は先進地のモデルを持ってきて、この八代市における言葉が垢抜けしている。例えば「協働」という言葉も、企業ということであれば判りやすい意味だが、住民自治推進検討委員会でも、まだ素案の段階のため、もう少し言葉を判りやすい言

地域名	主な意見
	葉で詰めていただきたい。もう一つは「協働」という言葉よりも、行政と住民だったら、「共同体」という言葉の方が判りやすい。文章を読むと、「～だからこうしなければいけない」という想いが強い。
八代	アンケート調査結果で、ボランティアに関わったことがないというのが 60%である。今の学校の子供たちは、週 2 日の休みになってから 100%である。これは子供たちに見せらない。貢献度なども、「どちらとも言えない。」「全く役立っていない。」なんて、ボランティアの捉え方をどう捉えているのかとすごく考えた。
八代	ボランティアの捉え方がおかしい。私は町内会長はボランティアの最たるものだと思う。ボランティアの捉え方がちょっとおかしいということを申し上げる。
八代	自治会長の任期制については、自治会長は、一生懸命やっておられることは理解しているし、感謝している。そんなに大変な仕事がたくさんあるのであれば、もっと青少年育成で次の人を育成するためにも、ここを手伝ってくれと任せるのも、長の役目。そして、次の人を育てていこうという気持ちを持って、1 人で何でもやってしまわずに、もう少し分担していくと、地域も盛り上げっていくので、若い人も育って行ってほしいと思う。
八代	老人会も各校区、支部で計画をして、できるだけ地域の次世代交流、盆踊りとかいろんな行事に参加して活動している。子供教室実行委員会を八代校区と竜峰校区が立ち上げて実際にやっているため、小学校単位、中学校区単位で総合学習の機会進めればよい。その際、子供の意見を市の施策に反映、意見聴取することが可能となる。
八代	地域婦人会は地域に根ざした活動をしているので、この提言（中間報告素案）はよく理解できた。まちづくりを進めるにあたり、やはり一番大事なものは各住民や NPO、ボランティア団体、それぞれの団体の「信頼関係の構築」、これが本当に大事ではないかと。是非、多くの皆さんに理解できるような方法で地域住民に啓発していただきたい。
千丁	住民自治によるまちづくりの推進に関する提言（中間報告）の中の「自治会長（区長）と市政協力員の役割を明確にしながら、」とあるのは市政協力員のいただいたマニュアルには、ちゃんと区分けして書いてあるので今後どういう意味で書かれているのか
千丁	中間報告の中の自治会長と市政協力員の相違点の表中、市政協力員の報酬月額は、現在の金額ですか。今の区長さんたちは減額になっている。

地域名	主な意見
千丁	現在の自治会（区）と別に住民自治組織を作るのか。
千丁	現在の自治会には規模が小さい地区があるので統合する必要があるのではないか。